

資格名	取得要件	資格について	主な活躍の場	大学での学習内容
社会福祉士国家試験受験資格 (定員制300名(学部全体))	◎	「ソーシャルワーカー」の中心的な資格。相談支援計画の作成、ソーシャルアクションなどを専門的な知識と技術で行います。	児童相談所、福祉事務所、社会福祉協議会、病院、地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、障がい者支援施設など	社会福祉原論や高齢者福祉論など法律で定められた科目を学ぶとともに、4年次には社会福祉援助技術実習として24日以上180時間以上の実習を行います。
社会福祉主事任用資格	○	地方公務員。都道府県や市町村の福祉に関する部署で、相談員やケースワーカーとして、生活上の困難に直面している人や、ハンディキャップがある方の相談援助を行います。	福祉事務所、児童相談所、老人施設、身体障がい者施設、社会福祉協議会、福祉団体など	地域福祉論や社会保障論、保育理論など厚生労働大臣が指定する社会福祉に関する科目のなかから3科目以上を選択し学びます。
身体障害者福祉司任用資格	○	地方公務員。身体に障がいがあるため社会生活や家庭生活に困っている人の相談に応じて、必要な情報を提供したり、生活の実状や環境などを調査した上で、社会的に自立できるよう指導・支援します。	身体障がい者更生相談所、福祉事務所など	福祉経営論や肢体不自由者の心理・生理・病理など厚生労働大臣が指定する社会福祉に関する科目を学び、身体障がい者福祉への専門的な知識と技術の修得に努めます。
児童指導員任用資格	●	児童養護施設や障がい児施設などで生活する子どもたちの自立と成長を温かくサポートする。時には子どもたちの親となり、兄・姉になり、先生にもなる仕事。ほとんどの児童施設の指導者に求められる資格です。	児童養護施設、知的障がい児施設、自閉症児施設、盲ろうあ児施設、難聴幼児通園施設、肢体不自由児施設、重症心身障がい児施設など	資格取得のための指定科目はありませんが、児童を中心とした福祉領域の学びから児童養護施設や障がいのある子どもたちを支援する仕組み、関連機関との連携などを学習します。
介護職員初任者研修資格 (旧:訪問介護員2級) (定員制60名(全学))	◇	介護職員初任者は、日常生活を送るのに支障がある障がい者や高齢者の家庭を訪問し、さまざまなサポートを行います。	養護老人ホームやグループホームなどの各種施設、民間の福祉サービス事業所など	高齢者福祉論、認知症の理解と支援 I、基礎介護技術、特論(介護実践の理論と実際)などの講義科目および実技科目を学ぶとともに、介護を必要とする方々に対する実習を行います。
救急救命士国家試験受験資格※1 (定員制20名(全学))	◎	緊急患者を病院へと搬送する救急車の車内において、医師の指示の下に器具を用いた気道確保や除細動での心臓マッサージといった救急救命処置を行います。	消防吏員、航空隊員など	医学・医療の分野などの厚生労働省の指定する科目を学ぶとともに、医療機関実習および救急車搭載実習などさまざまな実習を行います。
社会貢献活動支援士	■	防災・減災、ボランティア、国際協力、環境などの実践的な専門的知識と技能を身につけ、リーダーシップをとり活動します。	ボランティア、環境、国際協力などの現場のほか、災害発生時の被災地支援活動など	社会貢献活動支援士過程に関する科目のなかで、必修1科目2単位、選択8科目15単位を履修することによって取得できます。
福祉用具専門相談員資格 (定員制40名(全学))	□	福祉用具貸与事業所や福祉用具販売事業所で、病状や障がいの度合いを適切に見極めて、福祉用具の選定や使い方をアドバイスする専門の相談員です。	福祉用具貸与・販売事業所など	老人保健福祉、介護や福祉用具などに関する指定科目を取得するとともに、福祉用具の活用に関して実習を行います。
社会教育主事任用資格	★	地方公務員。都道府県、生涯教育に従事し、公民館・図書館・博物館などの職員や、PTA・青少年団体などの指導者に専門的なアドバイスや指導を行います。	教育委員会、社会教育施設	生涯学習概論、社会教育計画などの講義科目のみならず社会教育演習や社会教育実習などを通じてさまざまな側面から社会教育の理論と実際を学びます。
図書館司書資格	☒	図書館で図書館資料の選択収集、オンライン検索、分類整理、目録作成、保管作業、図書の貸し出しや回収、読書案内、アドバイスなどを行います。	国公立の図書館、大学図書館、企業(図書整理)など	図書館で専門職として勤務する時に求められる資格で、図書館学に関する科目や情報(処理)に関する科目を履修することによって取得できます。
博物館学芸員資格	☒	博物館や美術館などで資料の収集、保管、展示、調査、研究を行い、日本の文化施設の充実と向上に貢献します	国公立・私立の博物館、美術館、動物園、水族館、植物園など	博物館に専門職として勤務するときの資格で、博物館学に関する講義とともに、美術史・考古学・日本史・民俗学の分野いずれかを選択履修し、博物館実習を行います。
レクリエーションインストラクター資格 (定員制50名(全学))	▲	地域や学校、職場で好きなレクリエーションを日常的に楽しめる機会や環境を提供し、さまざまな遊びのメニューと技術をもち、楽しい体験を通して人と人、人と自然の絆を作ります。	地域、職場、学校などのレクリエーション活動の場	理論科目としてレクリエーション概論、実技科目としてアクティビティ・レクリエーション、コミュニケーション・ワークを学ぶとともに、さまざまな実習を行います。
防災士	■	地域社会の防災リーダーとして、震災時には救助活動や被災者ケア、避難所運営に関する専門知識などをもち活動するほか、公的機関と協力しながら災害現場での対応にも当たるなど、さまざまな活動を行うことが可能となります。	平常時:地域社会全般(啓蒙活動・防災訓練)防災活動 発災時:地域社会全般(家族・地域・職場)防災活動	防災士の役割や減災等31講目をスクーリングとレポートで学びます。また、普通救命教習講習を修了することが必須条件です。
臨床美術士4・5級受験資格	○	脳の活性化を促す独自のカリキュラムを用い、絵画・彫刻・陶芸などの創作を通して、認知症の予防または治療を行い、脳研究・治療の専門医やカウンセラーとともに、患者や家族をサポートします。	ボランティア活動など	臨床美術の概論や陶芸制作など題材について学ぶ教材研究と、認知介護論や認知症病態論などの実践研究を中心に、臨床美術の基本的な知識と技術について学びます。
初級障がい者スポーツ指導員資格	▲	障がい者に安全かつ適切にスポーツを指導し、あわせて、障がい者スポーツの普及・振興に貢献します。	障がい者スポーツ大会など、障がい者のスポーツ振興にかかわる活動	障がい者スポーツ指導法や実技科目としてのユニバーサルスポーツを学びながら、障がいに応じたスポーツ競技種目および身体運動の実施方法などについての理解を深めます。
中級障がい者スポーツ指導員資格	▲	都道府県レベルで、障がい者に安全かつ適切にスポーツを指導し、あわせて障がい者スポーツの普及・振興に貢献します。	障がい者スポーツ大会など、障がい者のスポーツ振興にかかわる活動	初級障がい者スポーツ指導員の学習内容に加えて、障がい者スポーツ指導法とともに2年以上(80時間(10日)以上)の指導経験が資格取得要件となります。
デジタルコンテンツアセッサ(3級)	○	各人のインターネットやソーシャルメディアの活用能力(リテラシー)を育成します。	ネットサービス運用企業の社員、教員や公務員、メディア業界関係者、ICT企業など	「コンプライアンス」「インターネット&デジタルコンテンツテクノロジー」「ネットワークリテラシー」などの分野に配置された各種科目を学びます。

- ◎ 所定の科目単位を充足し、卒業することによって得られ、学科の特徴から比較的取得しやすい資格。
- 所定の科目単位を充足し、卒業することで得られる資格。
- 卒業することによって得られる資格・受験資格。
- ◇ 所定の科目単位をすべて3年次までに取得することによって得られる資格。
- 本学において所定の科目単位を充足し、学外の試験を受験し合格して得られる資格。
- 所定の科目単位をすべて2年次に取得することによって得られる資格。
- ☒ 所定の科目を充足するには他学部・他学科の科目を受講する必要がある資格。
- ▲ 所定の科目単位などを取得し、得られる資格。
- ※1 厚生労働省に救急救命士の養成施設の指定申請中